

第 13 回全日本学生ライフセービング・プール競技選手権大会 兼ジャパンオープン 2021

学生プール

チーム 1 次要項

第13回全日本学生ライフセービング・プール競技選手権大会兼ジャパンオープン2021 実行委員会

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は当協会事業に対しまして格別なるご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、下記の通り「第 13 回全日本学生ライフセービング・プール競技選手権大会兼ジャパンオープン 2021」を開催いたします。

本競技会の出場対象者は、大学・大学院・専門学校に在籍する学生を基本としますが、競技者育成及び競技会への出場機会の増加を目的に、学生以外（中学生、高校生、一般）の方でも出場することが可能です。但し、オープン参加扱いとなりますので、表彰の対象とはなりません。また、本競技会に限り、プール施設の規格都合上、日本記録並びに大会記録の認定は行えません。あらかじめご了承くださいませ。

本競技会を安全に開催及び実施するにあたり、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防ぐ為、参加者（競技者、競技役員、関係スタッフ、など全員）は【ライフセービング競技会の再開に向けた感染拡大予防ガイドライン＜プール競技編＞】を必ず熟読し、それらを確実に遵守することが求められます。ガイドラインに付随して、主催者・参加者がすべきこととしてチェックリストを公開していますので、ぜひご活用願います。併せて、各団体／クラブの指導者やコーチの皆様は、参加競技者への指導と説明をお願い致します。

新型コロナウイルスの流行に対し、要項発表の時点では実施の方向で準備を進めていますが、今後、感染拡大の危険性、流行のピーク、開催地を管轄する都道府県及び自治体の方針などをふまえ開催中止も含め変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

敬具

記

- 競技会名称 第 13 回全日本学生ライフセービング・プール競技選手権大会兼ジャパンオープン 2021
- 主催 公益財団法人日本ライフセービング協会
- 日程 2022 年 1 月 29 日(土)～30 日(日)
- 会場 静岡県立水泳場（静岡県静岡市葵区西ヶ谷 357-2）
- 後援（予定） 調整中
- 協賛（予定） 調整中
- 協力（予定） 調整中

■ 競技種目

【 学生選手権 】

[個人種目]

- 01 障害物スイム (200m) (女子)
- 02 障害物スイム (200m) (男子)
- 03 マネキンキャリー (50m) (女子)
- 04 マネキンキャリー (50m) (男子)
- 05 レスキューメドレー (100m) (女子)
- 06 レスキューメドレー (100m) (男子)
- 07 マネキンキャリー・ウィズフィン (100m) (女子)
- 08 マネキンキャリー・ウィズフィン (100m) (男子)
- 09 マネキントウ・ウィズフィン (100m) (女子)
- 10 マネキントウ・ウィズフィン (100m) (男子)
- 11 スーパーライフセーバー (200m) (女子)
- 12 スーパーライフセーバー (200m) (男子)

[チーム種目]

- 13 ラインスロー (12.5m) (女子)
- 14 ラインスロー (12.5m) (男子)
- 15 マネキンリレー (4×25m) (女子)

- | | |
|----|----------------------|
| 16 | マネキンリレー (4×25m) (男子) |
| 17 | 障害物リレー (4×50m) (女子) |
| 18 | 障害物リレー (4×50m) (男子) |
| 19 | メドレーリレー (4×50m) (女子) |
| 20 | メドレーリレー (4×50m) (男子) |

【 ジャパンオープン 】

[個人種目]

- | | |
|-----|---------------------------------|
| 21※ | 障害物スイム (200m) (オープン男女) |
| 22※ | マネキンキャリー (50m) (オープン男女) |
| 23 | レスキューメドレー (100m) (オープン男女) |
| 24※ | マネキンキャリー・ウィズフィン (100m) (オープン男女) |
| 25※ | マネキントウ・ウィズフィン (100m) (オープン男女) |
| 26 | スーパーライフセーバー (200m) (オープン男女) |

[チーム種目]

- | | |
|-----|--------------------------|
| 27 | ラインスロー (12.5m) (オープン男女) |
| 28※ | マネキンリレー (4×25m) (オープン男女) |
| 29※ | 障害物リレー (4×50m) (オープン男女) |
| 30※ | メドレーリレー (4×50m) (オープン男女) |

- ※印の種目は、中学生の参加可能種目とする。但し、大会参加規程 1B-7 及び 1B-8 を遵守すること。
- 下線のある種目は、原則としてタイム決勝にて実施をする。エントリー数により予選・決勝をタイム決勝に、タイム決勝を予選・決勝に、それぞれ変更する場合がある。但し、オープン参加の団体／クラブにあっては、全種目をタイム決勝にて実施する。
- 【共通】[個人種目] 種目の登録数は競技者 1 人につき 2 種目を基本とする。3 種目以上に出場する場合は、追加参加費 (1,000 円/1 種目) が必要となる (但し、チーム種目を除く)。
- 【共通】[個人種目] エントリーする条件として「エントリー標準タイム」を設定する (詳細は別紙「エントリー標準タイムについて」を参照すること)。
- 【学生選手権】[チーム種目] 各団体／クラブから 1 チームのみの エントリーとする。男女混合は認められない。
- 【ジャパンオープン 2021】[チーム種目] 各団体／クラブから 2 チームのみの エントリーとする。男女の比率は不問とする (男子のみ、女子のみ、男女混合のいずれでも構わない)。

■ 競技規則

本協会発行「ライフセービング競技規則<2021 年版> (2021. 11. 26 版)」及び競技会参加規程に則り実施をする。詳しくは競技会参加規程 7. を参照すること。

※競技ルールを十分に理解して出場すること。

■ タイムテーブル

別紙を参照すること。確定版は、申込締切・集計後に 2 次要項と共に公表する。

■ 得点／団体総合順位 (学生選手権のみ)

決勝の結果に対して各種目の上位 1 位～8 位を入賞とし、得点が加算される。配点は以下の通りとする。

1 位-8 点	2 位-7 点	3 位-6 点	4 位-5 点	5 位-4 点	6 位-3 点	7 位-2 点	8 位-1 点
---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------

- [個人種目]、[チーム種目] とともに同じ得点とする。
- ブロッキングシステムを採用する (個人種目の上位 8 位以内に同一クラブの競技者が複数名入賞していた場合は、最も上位の順位のみのみが総合得点に反映される)。
- 団体／クラブの獲得点が同点の場合、1 位の種目が多い団体／クラブを上位に、1 位の種目が同数の場合は 2 位の種目が多い団体／クラブを上位に…、として団体総合順位を決定する。
- 決勝で失格の場合は「0 点」とする。
- 団体総合順位は男女別とし、本競技会で実施する 10 種目中 8 種目 (全体種目の 80%) 以上の最終競技結果をもって、成立するものとする。

■ 表彰 (学生選手権のみ)

<種目別表彰>

各種目上位 1 位～3 位にメダルを授与する（オープン参加者は対象外とする）。

＜団体総合表彰＞

前項（得点／団体総合順位）の獲得点を集計し、獲得点の多い上位 1 位～3 位の団体／クラブに表彰状を授与する（オープン参加の団体／クラブは対象外とする）。

■ 参加費

【競技者個人】

大学生	1 名につき	8,000 円	※保険代含む
一般	1 名につき	8,000 円	※オープン参加、保険代含む
高校生	1 名につき	8,000 円	※オープン参加、保険代含む
中学生	1 名につき	8,000 円	※オープン参加、保険代含む

※ [チーム種目] のみに出場する競技者も、エントリーフォーム「様式 B」に競技者情報を入力し、参加費を支払うこと。

【〔個人種目〕 追加参加費】

3 種目以上に出場する場合は、1 種目ごとに 1,000 円

※ [チーム種目] は含まれない。

【〔チーム種目〕 参加費】

1 種目につき 6,000 円

【変更手数料】

1 つの変更につき 3,000 円

- ・ 申込締切後であっても、各種変更（出場種目変更及び追加、エントリータイムの修正、その他の記載事項の修正、など）を可能とする。但し、申込締切時にエントリーが完了している競技者のみを対象とする。
- ・ 新たな競技者のエントリーは一切認めない。
- ・ 種目の追加を行う場合、変更手数料と併せて前述の参加費（〔個人種目〕 追加参加費、〔チーム種目〕 参加費）も支払わなければならない。
- ・ 変更手数料の振込先は、エントリー参加費と同様の口座とする。期限内に必ず支払うこと。期限内に変更手数料（及び追加に伴う不足分の追加参加費）が支払われない場合は一切の変更を受け付けない。

（変更例）

種目を 1 つ変更する場合＝3,000 円

種目を 2 つ変更する場合＝6,000 円

個人種目 2 種目エントリー済み、1 種目追加する場合＝4,000 円（追加 1,000 円+変更 3,000 円）

【参加費の扱いについて】

以下のような状況であっても、参加費及び変更手数料は返還されない。

- ・ 参加競技者が欠場あるいは失格となった場合。
- ・ 申込締切後に出場登録が取り消された場合。
- ・ エントリーミスによる競技会出場不可の場合。
- ・ 天候その他の理由により、やむを得ず開催中止となった場合。

但し、本競技会に限り、新型コロナウイルスの流行に対し、今後感染拡大の危険性、流行のピークなどをふまえ事前に開催中止と判断された場合はこの限りではない。この場合による参加費返金は以下の通りとする（振込手数料は主催者負担とするが、返金先の口座情報に誤りがあり、再振込に係る諸手数料が発生する場合はチーム側の負担とする）。

- ・ 競技会当日から 2 週間以上前の判断による場合：返金を行う *** 目安 2022/1/14(金) 以前**
 - [個人種目] 追加参加費及び [チーム種目] 参加費は返金しない
 - 競技者 1 人あたり 2,000 円を徴収し、残金を返金する
 - ☆ 1 人につき 6,000 円の返金
- ・ 競技会当日から 2 週間以内の判断による場合：一切返金しない

【その他】

後述するテクニカルオフィシャルの選出エントリーに不備があり、指定する期日までにその不備が修正されず、それでも競技会に出場を希望する場合は、救済のためのペナルティ手数料（選出審判員の不

備：30,000 円）が科される場合がある。参加するテクニカルオフィシャルが【参加規程】を満たしているかよく確認し、不備がないうえで申込締切日までにエントリー作業を進めること。

エントリー不備がある時点で、本来であれば出場は不可である。期日までにエントリーを正しく完了している団体／クラブと、公平性を保つ為の処置とする。

※参加競技者本人及び参加団体／クラブのエントリーに不備があった場合は、いかなる理由でも救済を認めない。そのため、参加競技者及び参加団体／クラブともに申込締切日までに【参加規程】を満たしているかどうか、各団体／クラブの代表者は必ず確認をすること。

■ テクニカルオフィシャル及びスタッフの選出

参加団体／クラブの参加競技者人数に応じたテクニカルオフィシャルの選出をすること。競技会運営を円滑に実施するための措置とする。競技会参加規程 9. を遵守すること。

■ 代表者会議

競技進行や競技実施における注意事項等について説明する代表者会議を、競技会の前に開催する。団体／クラブ代表者（やむを得ない場合は参加競技者の中から代表者に準ずる者）は必ず出席をすること。詳細は 2 次要項にて、エントリー担当者宛にメールで配信をする。

開催日時：2021 年 1 月 28 日（金）20:00 頃（予定）

開催場所：オンライン会議方式（予定）

■ 宿泊について （2021. 12. 3（金）更新）

宿泊手配が必要な場合は、公益財団法人するが企画観光局（しずおかコンベンションビューロー）幹旋の宿泊施設（静岡市内）の利用を推奨する。手配は各チームから直接手配すること。

<https://www.shizuoka-cb.com/accommodations/>

※新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、各大学及び各団体／クラブにおいて、宿泊利用をすることがよく検討をすること。また、宿泊施設のルール（感染症の対策、収容人数、など）を遵守すること。

■ 観覧席

安全管理上及び会場の場所取り等での混乱を避けるため、各団体／クラブ観覧席の区分けをあらかじめ大会実行委員会にて指定をする。区分け詳細は 2 次要項にて公表とする。

■ 会場へのアクセス／駐車場について

静岡県立水泳場

静岡県静岡市葵区西ヶ谷 357-2

<https://shizuoka-pool.com/kensuiei/>

- 会場隣接の駐車場を利用する場合、譲り合って使用すること。また、必ず指定の駐車場を利用すること（詳細は 2 次要項にて案内する）。
- 絶対に違法駐車はしないこと。

■ 情報発信

競技会専用の SNS を活用し、競技会関係各位へ 2 次的に情報提供をするため運用を行う。本競技会に限らず、国内の競技会全般の情報発信とする。

SNS 名称：Facebook

アカウント名称：JLA Lifesavingsport

<https://www.facebook.com/jla.lifesavingsport/>

■ 申込方法

各種要項等を必ず熟読し、以下の手順でエントリー作業を行うこと。提出先などの詳細は、別紙「エントリースケジュール（各種締切）」を必ず確認すること。

※様々なエントリー不備（期日までに各種登録が完了していない、宛先メールアドレス入力間違っている、郵送物が提出されていない、入金金額が不足している、など）が非常に多く発生している。申込締切日までに正しくエントリー出来ていない場合は、（前述のテクニカルオフィシャル選出を除き）いかなる状況・理由でもその後のエントリーは認めず、また参加費の返還はしない。エントリー担当者はミスが無いように慎重に作業を進めること。

【オンライン登録管理システム「LIFESAVERS」での作業】

- 各団体／クラブは、本協会への 2021 年度加盟登録を期日までに完了させること（登録の承認を受け、

期日までに登録費を支払う)。

- 各競技者は、自身の「資格登録」と「選手登録」の2021年度登録を期日までに完了させること（登録申請を行い、期日までにそれぞれの登録費を支払う）。
- 各競技者は、「クラブ加入申請」又は「継続加入申請」を行い、出場する団体／クラブへの所属を完了させること。また各団体／クラブ代表者は出場する競技者の各種登録（資格登録、選手登録、所属登録）が完了しているかどうか必ず確認をすること。
- 団体登録費、資格登録費、選手登録費の支払いは「LIFESAVERS」システムに従い入金をすること。参加費受付の金融機関口座への振り込みではないので注意すること。

【データ提出物の作業】

- 「エントリーフォーム」を使い、各団体／クラブ情報、各競技者個人情報及び出場種目、チーム種目の出場種目を入力し、指定された提出先メールアドレスへ期日までに提出（メール送信）をする。
- 申込締切後の各種変更手続きをする場合は、指定のフォームを使い指定された提出先メールアドレスへ期日までに提出（メール送信）をする。
- 2次要項の配信及びその他の情報発信は、全てメール配信にて行う為、「compe@jla.gr.jp」からのメール受信ができるように、端末（メールソフト、スマートフォン、など）の受信設定をすること。

【郵送での作業】

- 「エントリーフォーム」のうち「様式D（同意書）」を印刷し、各団体／クラブ代表者は同意書の各項目を熟読および遵守すること。必要事項を記入し、指定された宛先（住所）まで期日までに郵送で提出すること。

【参加費支払いの作業】

- 各団体／クラブの参加費合計金額（個人参加費＋チーム種目参加費）を、指定された金融機関口座へ期日までに支払うこと。
- 申込締切後の各種変更手続きをする場合は、変更手数料の合計金額（変更手数料＋不足分の参加費）を、指定された金融機関口座へ期日までに支払うこと。
- 参加費の支払いは、「LIFESAVERS」では取り扱えないため、注意すること。

■ その他

【会場への入場制限について】

本競技会を安全に開催及び実施するにあたり、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防ぐ為、競技会会場への入場は関係者（当日の出場競技者、出場チームの引率者3人まで、コンディショニングトレーナー1人まで、競技会運営スタッフ、競技役員）のみとする。この為、競技に出場しない者（同チーム在籍だが本競技会に出場しない者、同チームの卒業生、保護者、一般観客、など）の来場は控えること。また、朝の入場にあっては過度な密接状態を防ぐために「分散入場」の措置を講じる場合がある。

【競技会前14日間の体調管理の記録とチェックシート等の提出について】

本競技会を安全に開催及び実施するにあたり、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防ぐ為、当日競技会会場へ入場する全ての関係者に対して、競技会前14日間における体調管理を記録し、その記録データの提出を求める。記録及び提出方法は、以下の2通りのいずれかとする（原則は「1.」を利用すること）。詳細はエントリーチーム及びテクニカルオフィシャルに後日案内する。

1. 専用アプリケーション「テレサ」を活用した記録及び電子データによる提出
2. 紙媒体による記録及び提出

【新型コロナウイルスのウイルス検査の事前実施について】

本競技会を安全に開催及び実施するにあたり、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防ぐ為、当日競技会会場へ入場する全ての関係者に対して、新型コロナウイルスのウイルス検査を事前に実施し、陰性であることを確認してから来場することを求める。検査の種類は問わない。また、検査の結果を当日に提示できるように準備しておくこと。

【競技会場について】

- メインプール及びウォーミングアップで使用するレーンロープは切れやすい為、つかまったり寄りかかったりしないこと。
- メインプールにおけるスタート台は、調整が可能なバックプレートを使用する予定である。

- メインプールにおける水深はプール中央部で最大 1.8m である。

【スポーツ育成委員会より】

本競技会は、第 12 期 JLA ハイパフォーマンスプログラム（第 12 期 JHPP）の選考対象とする。本競技会における個人および団体種目の結果を参考に、第 12 期 JHPP のハイパフォーマンスチームに選出する。

【競技成績証明書】

各種目で入賞した競技者で競技成績証明書が必要な場合、本協会 LIFESAVING SITE「ライフセービングスポーツ」→申請・規定・規則→競技成績」より「競技成績証明書」を入手し、本協会事務局まで提出すること。発行申請は該当する競技会より 1 年以内の期間で受付をする。

■ オンライン登録管理システム「LIFESAVERS」

システムを通じて「JLA-ID」を取得し、管理ページにて保有資格等の確認と 2020 年度登録費（個人：資格登録や選手登録、団体：団体登録）の支払いを済ませること。各種登録は 1 年ごとである。なお、登録方法の手順や不明点は、「LIFESAVERS」の問い合わせフォームから問い合わせをすること。

<https://life-savers.jp/>



■ お問い合わせ

公益財団法人日本ライフセービング協会事務局

〒105-0013 東京都港区浜松町 2-1-18 トップスビル 1 階

TEL：03-3459-1445（対応時刻：平日 12:00～18:00）

FAX：03-3459-1446

LIFESAVING SITE：<https://ls.jla-lifesaving.or.jp/>

第 12 回全日本学生ライフセービング・プール競技選手権大会兼ジャパンオープン 2021 参加規程

1A. 参加資格（学生選手権）

競技者の参加資格（学生選手権）は下記を満たしている者、若しくは本協会が特別に参加を認めた者でなければならない。

- 1A-1 競技者は、競技会 1 日目当日満 18 歳以上でなければならない。
- 1A-2 競技者は、ライフセービングを志し、指定された資格を保有した状態で出場する競技会の過去 1 年以内に海岸やプール等水辺での監視・救助活動、または教育・普及活動に従事した者でなければならない。
- 但し、2021 年度については、昨今の新型コロナウイルスを取り巻く状況を鑑み、参加に必要な監視・救助活動、または教育・普及活動については推奨に留める。
- 1A-3 競技者は、大学・大学院・専門学校に在籍する学生であること。また、大学もしくは大学クラブ監督者（責任者）の参加承諾があること。
- 1A-4 競技者は、本協会が認定するアカデミー資格（サーフライフセービング資格又はプールライフガーディング資格※）を、申込締切日までに取得していなければならない（検定に不合格となった場合でも、競技会参加費は返還されない）。
- ※サーフライフセービング資格又はプールライフガーディング資格とは次の資格のことを指す（JLA アカデミー規程集「資格認定に関する規程」より）。
- ・ サーフライフセービング・指導員（アシスタントインストラクター含む）
 - ・ プールライフガーディング・指導員（アシスタントインストラクター含む）
 - ・ ベーシック・サーフライフセーバー
 - ・ アドバンス・サーフライフセーバー
 - ・ プールライフガード
 - ・ アドバンス・プールライフガード
- 1A-5 競技者は、申込締切期日までに、オンライン登録管理システム「LIFESAVERS」にて 2021 年度の資格登録費及び選手登録費の支払いを完了していなければならない。
- 1A-6 競技者は、1 つの団体／クラブから出場しなければならない。なお、学生の団体／クラブから出場をする場合、オープン参加の団体／クラブからの出場は認めない（1 人の競技者が 2 つ以上の団体／クラブに渡ってのエントリーを認めない）。
- 1A-7 エントリー標準タイムが設定されている個人種目では、当該種目のエントリー標準タイム以下で申し込みをしなければならない（団体／クラブ代表者の責任において申告すること）。エントリー標準タイムとは、当該種目に出場するための最低限の泳力を示すもので、当該種目に出場するためにはエントリー標準タイム以下であることがエントリーの条件である。

1B. 参加資格（ジャパンオープン 2021）

競技者の参加資格（ジャパンオープン 2021）は下記を満たしている者、若しくは本協会が特別に参加を認めた者でなければならない。

- 1B-1 競技者は、競技会 1 日目当日満 12 歳以上でなければならない（但し、小学生を除く）。
- 1B-2 競技者は、ライフセービングを志している者でなければならない。
- 1B-3 競技者は、本協会が認定するアカデミー資格を、申込締切期日までに取得していることを推奨とする。年齢区分別に対象資格は以下の通りとする（参考）。
- | | | |
|-----|---|--------------------------------|
| 一般 | ： | サーフライフセービング資格又はプールライフガーディング資格※ |
| 高校生 | ： | BLS 資格及びウォーターセーフティ資格 |
| 中学生 | ： | ウォーターセーフティ資格 |
- ※サーフライフセービング資格又はプールライフガーディング資格とは次の資格のことを指す（JLA アカデミー規程集「資格認定に関する規程」より）。
- ・ サーフライフセービング・指導員（アシスタントインストラクター含む）
 - ・ プールライフガーディング・指導員（アシスタントインストラクター含む）
 - ・ ベーシック・サーフライフセーバー
 - ・ アドバンス・サーフライフセーバー
 - ・ プールライフガード
 - ・ アドバンス・プールライフガード
- 1B-4 競技者は、申込締切期日までに、オンライン登録管理システム「LIFESAVERS」にて 2021 年度の選手登録費の支払いを完了していなければならない。
- 1B-5 競技者は、1 つの団体／クラブから出場しなければならない。なお、オープン参加の団体／クラブから出場をする場合、学生の団体／クラブからの出場は認めない（1 人の競技者が 2 つ以上の団体

- ／クラブに渡ってのエントリーを認めない。
- 1B-6 エントリー標準タイムが設定されている個人種目では、当該種目のエントリー標準タイム以下で申し込みをしなければならない(団体／クラブ代表者の責任において申告すること)。エントリー標準タイムとは、当該種目に出場するための最低限の泳力を示すもので、当該種目に出場するためにはエントリー標準タイム以下であることがエントリーの条件である。
- 1B-7 中学生は、過去に本協会が主催するユース区分におけるプール競技の競技会又は選手権大会に出場した実績を有すること。
- 1B-8 中学生は、前項 1B-7 を満たしている場合のみ、チーム種目(マネキンリレー(4×25m)、障害物リレー(4×50m)、メドレーリレー(4×50m))の参加を認める。
- 1B-9 オープン参加の者は、本競技会の表彰の対象とはならない。

2. 団体／クラブ構成

- 2-1 団体／クラブは、申込締切期日までに、オンライン登録管理システム「LIFESAVERS」にて本協会への2021年度加盟登録が完了していなければならない。
- 2-2 本競技会に出場できる団体／クラブは、次の通りとする。
【学生選手権】
第3種及び第4種に限る(講習会主管の為に第1種登録をしている大学団体／クラブを含む)。
【ジャパンオープン2021】
第1種、第2種、第5種、第6種に限る。但し、第5種クラブ又は第6種クラブから出場できる競技者(その年齢)は、競技会における最初の競技種目が行われる日に、学校教育法第17条第2項に規定された保護者による就学義務が発生する年齢を超過している者に限る。但し、超過は3歳以下とする。
- 2-2 1 団体／クラブからの出場は1つまでとする。但し、【ジャパンオープン2021】におけるチーム種目のみ、1種目につき2つまでのエントリーを可能とする。
- 2-3 団体／クラブは、同じ団体／クラブに所属する競技者により構成されていなければならない(競技者は、オンライン登録管理システム「LIFESAVERS」にて、「クラブ加入申請」または「継続加入申請」を行い、出場する団体／クラブへの所属を完了させること)。
- 2-4 チーム構成は、次の通りとする。
【学生選手権】
男子チーム・女子チームとする。男女混合チームを編成することは認められない。
【ジャパンオープン2021】
男女を分けない。チーム種目においても、その構成は不問とする(男子のみ、女子のみ、男女混合、いずれでも構わない)。

3. 団体／クラブ名称

参加団体／クラブ名称は、本協会に登録されている団体／クラブ名称とする。

4. 出場登録

- 4-1 参加競技者は、予め所定の用紙(電子データファイル)を用いて出場種目の登録をしなければならない(エントリー不備等が発覚した場合は、団体／クラブ代表者及びエントリー担当者にメールでのみ通知をする)。
- 4-2 エントリーに過誤があった場合に限り、出場登録(申込締切)後の「出場種目の変更」が出来る。但し、既に出場登録が完了している者のみ対象とし、新たな競技者の追加登録は認めない。なお、個人種目の全種目について、変更又は追加が出来るものとする。

5. 団体／クラブ代表者

各参加団体／クラブは、団体／クラブを代表する者として代表者を1名置かなければならない。なお、団体／クラブ代表者と競技者はこれを兼任することが出来る。また、団体／クラブ代表者(やむを得ない場合は参加競技者の中から代表者に準ずる者)は必ず代表者会議に出席しなければならない。

6. ユニフォーム及び競技中の衣類

- 6-1 各団体／クラブは、式典や表彰式及び競技に適したユニフォーム、水着、キャップを持たなければならない。ラッシュガードは、主催団体から特別な指示がない限り、競技中任意に着用することができる。

- 6-2 ユニフォーム、水着、キャップの性質、デザインが一般良識に反すると主催団体が判断した場合は、いかなる競技者も競技に参加することができない。
- 6-3 キャップは、登録されていない物でもよい。
- 6-4 キャップは、団体／クラブ全員が同様の色とパターンのキャップでなければならない。
- 6-5 団体／クラブのユニフォーム、水着、キャップ、ラッシュガードに競技会のスポンサーと対立するような商標、商標名があると主催団体が判断した場合、その対応は主催団体の指示に従わなければならない。

7. 競技規則

本協会発行「ライフセービング競技規則<2021 年版> (2021. 11. 26 版)」及び下記の事項に則り実施をする。但し、下記の事項が競技規則よりも優先される。

- 7-1 本競技会は、代表者会議開始時刻に開始し、最終競技種目の終了から 20 分後に終了するものとする。但し、抗議、上訴又は規律審査に属する問題がある場合、最終解決まで競技会は継続する。
- 7-2 競技会にエントリーすることで、参加者は競技会を管理する関連規則、規程、手順を知る責任と義務があることを認識しているものとする。
- 7-3 決勝は A 決勝、B 決勝に分けず、1 ヒート（A 決勝に相当）のみとする。
- 7-4 マネキン・ハンドラーは競技者と共に指定された時刻までにマーシャルに集合し、テクニカルオフィシャルの指示により整列すること。
- 7-5 本競技会における上訴の預託金の金額は、10,000 円とする。
- 7-6 マネキン・ハンドラーは、原則として当該競技者と同じチームのメンバー（本競技会に競技者として出場登録している者）とする。やむを得ずチームメンバー以外からマネキン・ハンドラーを選出する場合、チーフレフリーが認める可能性があるのは、同様に本競技会に競技者として出場登録している者に限る。

8. 競技器材

- 8-1 競技で使用する器材は、本協会発刊ライフセービング競技規則の「第 8 章 設備及び器材の規格と検査手順」の基準を満たさなければならない。
- 8-2 ブール競技で使用するマネキン、障害物、レスキューチューブ、スローラインは、主催団体が用意する。
- 8-3 主催団体は、競技者の競技器材の検査・再検査を競技前、競技中、競技終了後任意に行うことができる。競技器材が基準を満たしていない場合は、その競技者はその器材を使用できないか又は失格となる。
- 8-4 ラインスロー（12.5m）において、クロスバーとして障害物スイム等の「障害物」を用いる。

9. テクニカルオフィシャル及びスタッフの選出

- 9-1 参加団体／クラブは、参加競技者数に応じてテクニカルオフィシャルを選出しなければならない。選出する人数は以下の通りとする。なお、【学生選手権】においては、女子チーム・男子チームは別であるため、別々に選出すること（男女合わせての競技者数ではない）。

競技者 6～10 名＝1 名、同 11～20 名＝2 名、同 21～40 名＝3 名、同 41 名以上＝4 名

 何らかの理由でテクニカルオフィシャルが参加できなくなった場合は、必ず代替りの者を選出すること。両日に渡り必要人数の選出がない（競技会当日に必要な人数のテクニカルオフィシャルの参加がない）団体／クラブは、本競技会への出場を認めない（団体／クラブ全体の不参加とする）。
- 9-2 選出するテクニカルオフィシャルは、本協会が認定する認定審判員資格を、申込締切期日までに取得していなければならない。また、本競技会に競技者として出場登録をしていないこと。
- 9-3 選出するテクニカルオフィシャルは、本協会が認定する BLS 資格を、申込締切期日までに取得していなければならない。
- 9-4 選出するテクニカルオフィシャルは、申込締切期日までに、オンライン登録管理システム「LIFESAVERS」にて 2021 年度の資格登録費の支払いを完了していなければならない。
- 9-5 選出されたテクニカルオフィシャルは、「競技役員 1 次要項」に従い、指定された方法で申込を行うこと。
- 9-6 選出されたテクニカルオフィシャルの参加に関わる食事、宿泊等は「競技役員 1 次要項」に基づき、主催者が負担する。交通費は支給しないため、各団体／クラブが負担すること。但し宿泊に限り、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策のため、主催者の手配ではなく各団体／クラブでの手配となる（委ねる）場合がある。
- 9-7 選出されたテクニカルオフィシャルは 2 日間を通じて参加できること。なお、2 日間を通じてテクニカルオフィシャルを選出できないときは、やむを得ず、日ごとにテクニカルオフィシャルを入れ

替わることを認める。

10. 大会記録／日本記録について

本競技会に限り、プール施設の規格都合上、日本記録並びに大会記録の認定は行わない。

11. その他

- 11-1 本競技会を安全に開催及び実施するにあたり、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防ぐ為、参加者（競技者、競技役員、関係スタッフ、など全員）は【ライフセービング競技会の再開に向けた感染拡大予防ガイドライン＜プール競技編＞】を必ず熟読し、それらを確実に遵守すること。
- 11-2 新型コロナウイルスへの感染リスクをゼロにすることは困難であることを理解し、感染リスクがあることを承諾した上で競技会に参加すること。また、感染リスクを含むあらゆるリスク、損失において参加する競技者自身による自己責任であることに同意すること。さらに、主催者が提示する感染対策を理解し従うこと。万が一、競技会参加者に感染が確認された場合、調査機関への情報開示、参加者へ連絡することに同意をすること（但し、その他の利用目的での第三者への提供はしない）。
- 11-3 競技会期間中に競技会主催者及び競技会主催者が認めた者が撮影した、競技者やチーム関係者の写真、映像及び録音した音声を、ライフセービングの広報の目的で使用したり、第三者に対して使用を許諾することがある。
- 11-4 競技会への出場登録時に提出したエントリー情報は、本協会もしくは本協会の許可する者がアナウンスをしたり、掲示、公開する場合がある。
- 11-5 競技会中に競技会主催者が撮影を制限したり、拒否したりすることがある。なお、撮影された記録の提出を求める場合がある。
- 11-6 競技会主催者への提出書類の記載事項に虚偽が認められた場合、競技会への参加や記録が取り消されることがある。

12. 保険について

大会参加規程のもとでの参加者（競技者、競技役員）は、以下の保険に加入している。なお、賠償責任保険については、競技会参加者同士の事故には法律上の賠償責任が発生しないため、保険の対象とはならない（例：レース中、A 競技者のクラフトが B 競技者のクラフトにぶつかり B 競技者のクラフトが破損した）。

競技会期間中の場合は、競技会本部事務局に直ちに報告すること。

【傷害保険】

死亡保険金額	500 万円
後遺障害保険金額	20 万円～500 万円
入院保険金額	3 千円
手術保険金額	入院保険金額の 5 倍または 10 倍
※代理店：有限会社リプロ（0466-55-4388）	

【感染見舞金補償保険】

死亡お見舞金	100 万円
入院・通院日数 31 日以上	7 万円
入院・通院日数 8～30 日	5 万円
入院・通院日数 7 日以下	3 万円
※代理店：有限会社リプロ（0466-55-4388）	

【団体賠償責任保険】

賠償責任保険（身体・財物）	2 億円
賠償責任保険（管理財物）	50 万円
賠償責任保険（人格権侵害）	50 万円
事故対応費	500 万円
見舞費用（死亡）	50 万円
見舞費用（後遺障害）	2 万円～50 万円
見舞費用（入院）	2 万円～10 万円
見舞費用（通院）	1 万円～5 万円
※代理店：有限会社リプロ（0466-55-4388）	

【個人賠償責任保険】

賠償責任保険（身体・財物） 1 億円

※1 事故につき 5 千円の自己負担

※代理店：株式会社第一成和事務所 営業第二部（03-5645-1071）

以 上